

サザンクロスルータシステム「AR260S V2」

ファームウェアリリースノート

Version 3.3.3

Ver.3.3.3

以下のとおり機能拡充が行われました。

1. 本バージョンで拡充された機能

- (1)「ダイナミックDNS 設定」で「登録するインターフェース」に指定したインターフェースのIP アドレスを、ダイナミックDNS サーバー宛てのパケットに含めていませんでしたが、これを修正しました。
- (2)VPN 環境で複数のIPsec トンネルを確立する設定で動作している場合、IPsec SA が確立した際に、IPsec SA が確立していない同一のIPsec ポリシーに対して同時に多数のSA を作成しようと動作していましたが、これを修正しました。

2. 本バージョンでの留意事項

- (1)PPPoE インターフェース複数使用時のIPsec 経路変更
PPPoE インターフェースを複数設定し、仮想トンネルインターフェースを使用するIPsec 環境においてIPsec 対向機器に対する経路(ルーティングテーブル)を変更する場合は、一度「切断」ボタンを押してPPPoE インターフェースを切断してから行ってください。
- (2)PPPoE 使用時の固定アドレス設定
PPPoE セッションが接続された状態で「WAN 設定」で固定アドレスを設定する「IP アドレス(オプション)」の値を設定すると、「IP アドレス(オプション)」に入力したアドレスとは異なるアドレスが設定されます。「IP アドレス(オプション)」を変更する場合には、PPPoE が切断された状態で変更する必要があります。
- (3)MSS クランプ値の手動設定時のMSS 値
WAN 側インターフェースの設定においてMSS クランプ値を手動設定にした場合、MTU 値が1454Byte 以外の時にMSS 値が正しく設定されないことがあります。そのため、自動設定を使用するか、正しいMSS 値になるようにMSS クランプ値を調整してください。
- (4)DNS リレー関連のログメッセージ
DNS リレーの問い合わせ先を自身のWAN 側インターフェースのIP アドレスに設定している場合に、LAN 配下のコンピューターから本製品のLAN 側インターフェースのIP アドレス宛にDNS

クエリーパケットを受信した際、本製品に次のようなログメッセージが記録されます。

Aug 03 14:26:31 PMON [007]: [named] terminated unexpectedly. Restarting

Aug 03 14:26:31 PMON [008]: [named] restarted

Aug 03 14:28:07 PMON [007]: [named] terminated unexpectedly. Restarting

Aug 03 14:28:07 PMON [003]: Abandoned [named]

これを回避するには、DNS リレーの問い合わせ先を、本製品のWAN 側インターフェースのIPアドレス以外に設定してください。

(5) ポートフォワーディング設定時の対象プロトコルの表示

「NAT 設定」で「NAT タイプ」を「ポートフォワーディング」に設定し、「対象プロトコル」を「ESP」とした場合、いったん設定は反映されるものの、設定変更時に設定画面を開くと、「対象プロトコル」が「ESP」と表示されません。これは表示だけの問題で動作には影響ありません。

(6) デフォルトルートの出カインターフェース

トンネルインターフェースを利用した IPsec 構成において、デフォルトルートの出カインターフェースをトンネルインターフェースにしている場合、WAN 設定の内容を変更すると、デフォルトルートの出カインターフェースが、PPPoE インターフェースに変更されてしまいます。
